

# Odea Giro Plus

# Odea Cappuccino



## 日本サエコ株式会社

本 社:〒141-0031 東京都品川区西五反田2-15-9 ブルーベルビル2F  
TEL.03-5436-7881 FAX.03-5436-7882  
サエコサービスセンター:〒665-0823 兵庫県宝塚市安倉南2-14  
TEL.050-5525-7025 FAX.0797-84-0767  
Infor.Saecojapan@philips.com www.saeco.co.jp

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

©2011 Nihon Saeco K.K

2011.05

## 取扱説明書

マシンを使用する前に、この取扱説明書をお読みください。  
また安全上のご注意を必ずお読みください。



PHILIPS  


## はじめに

この度は、Odea Giro Plus、Odea Cappuccinoをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は家庭向けエスプレッソマシンです。コーヒー豆を使ってエスプレッソやコーヒーを抽出するのに適しており、スチームやお湯を供給する装置も備えています。

以下に記載した原因による損傷については、保証は適用されません。

- ・本来の目的に反する間違った使用による場合
- ・修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合
- ・電源コードを改造された場合
- ・マシンの一部でも改造された場合
- ・オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合
- ・除石灰作業を行わなかった場合やマシンを摂氏0度以下の環境で使用、もしくは保管された場合

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。



使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかりと守って下さい。

## 取扱説明書の利用方法

この本取扱説明書は安全な場所に保管してください。そして本エスプレッソマシンを使用される全ての方が利用できるようにしてください。さらに詳しい情報についてはサエコサービスセンター（TEL：050-5525-7025）にお問い合わせください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

## 製造番号について

本体サイドドア内側に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。



シールは絶対に剥がさないでください。これらの表示内容は全て、サービスセンターにメンテナンスをご依頼される際に必要となる重要な情報です。



ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

- 本製品のご使用前に、取扱説明書や箱の中の印刷物を必ずお読みください。
- 取扱説明書は、必要ときにいつでも見られるよう、分かりやすい場所に保管しておいてください。
- ご不明な点は、サエコサービスセンター（TEL：050-5525-7025）へご連絡ください。

各絵表示は以下を示しています。

	△記号は、警告・注意を示します。 △の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。
	⊘記号は、禁止を示します。 ⊘の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、強制を示します。 ●の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。

## 警告



電源は「15A 125A」と記載されている壁面のコンセントから直接お取りください。またタコ足配線はしないでください。タコ足配線部が異常発熱したときに火災の恐れがあります。



電源は交流100V 50/60Hzをご使用ください。交流100V以外の電源を使用されますと火災の恐れがあります。















アース線を必ず確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込み、抜く時は電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って、抜いてください。感電やショート、発煙、発火、またケガをする恐れがあります。












## 警告

-  差し込みプラグに埃が付着している場合は、よく拭き取ってください。火災の原因となります。
-  電源プラグ、コードを破損するようなことはしないでください。火気の近くでは使用しないでください。 変異・故障の原因となります。
-  電源コードに重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したり、また無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりなど、傷つけないようにしてください。コードが破損をし、感電や火災の原因となります。
-  電源コード、プラグ、マシン本体などを水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・漏電の恐れがあります。
-  電源コードや、差込プラグが痛んだり、コンセントの差込がゆるい時は、使用しないでください。 ショート・漏電の恐れがあります。
-  使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となります。
-  独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、中のパーツに触れないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
-  お子様だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しないでください。ヤケド、ケガの原因となります。
-  本製品を使用中は、手や電気コードがコーヒー抽出口やスチームノズル、カップウォーマー等、熱を帯びる部分に触れないでください。ヤケドや破損の原因となります。
-  パナレロ(スチーム・給湯ノズル)を使用中は、ノズルから非常に高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。ヤケドや破損の原因となります。
-  製造元が推奨するもの以外の付属機器のご使用は、決してしないでください。火災、感電、障害の危険を及ぼす可能性があります。
-  本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。火災、故障の原因となります。



万が一、異常が発生した場合には、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

## 注意

-  不安定な場所には設置をしないでください。破損やヤケドの原因となります。
-  水や火気の近くでは使用しないでください。また、壁や家具の近くで使用しないでください。 故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。
-  水タンクには、温かいもしくは熱いお湯を入れないでください。製品が正常に稼働しない恐れがあります。
-  使用時以外や、クリーニングの前には、コンセントからプラグを外してください。また、パーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。 ヤケドの原因となります。
-  洗剤をご利用の場合は、台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でクリーニングしてください。 破損の原因となります。
-  マシン内部に付着した石灰質(スケール)の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を、定期的に行ってください。 故障の原因となります。
-  使用後は、必ずお手入れをしてください。(本文22ページを参照ください)故障の原因となります。
-  電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らしたり、製品の熱を帯びる部分に触れないようにしてください。 ケガ、破損の原因となります。
-  屋外では使用しないでください。
-  高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。
-  本製品には衝撃を与えないようにしてください。 故障の原因となります。

安全上のご注意 .....	3
各部の名称 .....	7
アクセサリ .....	7
設置 .....	8
ご利用の前に .....	8
ご利用の前に(空気抜き) .....	9
インテンザ(オプション) .....	10
コントロールパネル .....	11
カス捨て警告ランプと警告ランプ点灯について .....	12
節電機能 .....	12
調節 .....	13
カップ一杯当たりのコーヒー抽出量の調節 .....	13
アロマ(コーヒー豆量)の設定 一杯当たりのコーヒー豆量の設定 .....	13
ドリップトレイの高さ調節 .....	13
コーヒーグラインダー調節 .....	14
コーヒー抽出 .....	15
給湯 .....	16
カプチーノ .....	17
カプチナトーレ (Odea Cappuccinoのみ) .....	18
除石灰(スケール除去) .....	20
クリーニングとメンテナンス .....	22
マシンのクリーニング .....	22
ブルーイングユニットのクリーニング .....	23
トラブルシューティング .....	24
保証とアフターサービスについて .....	25
修理依頼書 .....	26
技術データ .....	27



## アクセサリ





## ご利用の前に



- ・差込プラグを抜き差しする時は、濡れた手で決して触らず、根元まで確実に差し込んでください。
- ・以下の作業に入る前に電源ボタンが押されていないこと、そしてマシンがOFFの状態になっているか確認してください。



1 コーヒー豆容器のカバーを開けます。



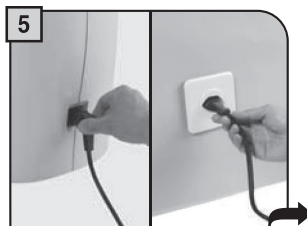
2 容器に豆を入れたら、豆容器カバーを正しく閉めてください。  
注) コーヒー豆以外のものを入れないでください。



3 水タンクを外してください。インテンザの取り付けを推奨します。(P10参照)



4 水タンクのMAXの位置まで飲料水を注ぎ、元の位置に水タンクをセットしてください。



5 マシン背面パネルにあるソケットにプラグを差し込み、もう一方を適切な容量のあるコンセントに差し込んでください。  
注) 濡れた手で触らず、根元まで差し込んでください。



6 電源ボタンをしっかりと押してマシンをONにしてください。自己診断を始めます。

適切な温度に達すると、マシンは内部のリンスサイクルに入り、少量の水がノズルから出てきます。この間、ライトが反時計まわりに点滅します。このサイクルが完結すると適温ランプが点灯します。それまでお待ちください。

## ご利用の前に (空気抜き)

前ページの動作が自動的に完了せず、警告ランプが早い点滅をし、給湯ランプが点灯した場合、ステップ1～6の記載にしたがって手動で進めてください。




1 スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。



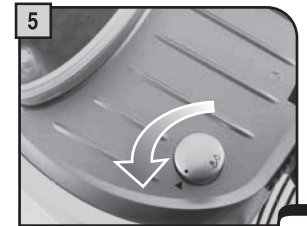
2 給湯ボタンが点灯しているのを確認してください。



3 ノブを  の位置まで回してください。



4 ノズルから安定して水が出てくるまでお待ちください。  
注) ノズルには触れないでください。



5 カップ一杯程度の水を出したら、ノブを停止位置 (●)まで回してください。



6 給湯ボタンをもう一度押し、容器を外してください。給湯ボタンが消灯します。マシンの準備が完了しました。

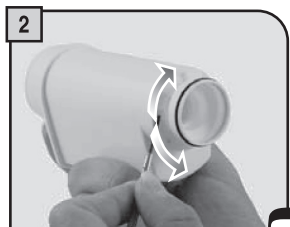
ステップ1～6までの空気抜き作業を行っても、警告ランプの早い点滅が解除できない場合、ステップ1～6までを数回繰り返してください。

## インテンザ (オプション)

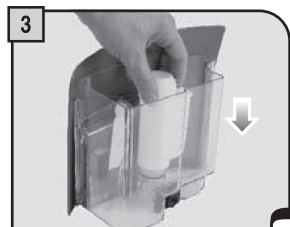
良質の水のご利用と同時にマシン内部への石灰質(スケール)の付着を軽減するため、インテンザの装着をお勧めします。インテンザは使用前に、パッケージから出し、水を入れた大きめの容器に逆さにして水の中に入れ、気泡が出なくなるまで側面を軽く押ししてください。



1 水タンク内の底の給水部にある小さな白いフィルターを取り外してください。



2 インテンザの底面あるリングを回して、ろ過レベル(A~C)を選択します。  
A: 軟水 B: 中硬水  
C: 硬水



3 水タンクの給水部に垂直に、しっかりと挿し込んでください。



4 水タンクに新鮮な水を入れ、水タンクのフタを取り付け、マシンへセットしてください。



5 スチーム・給湯ノズルの下に500cc程度の容器を置き、給湯機能を使って水タンクの水をすべてノズルから排出してください。(P16参照)



6 再度、水タンクに新鮮な水をMAXのすぐ下まで補充し、本体に取り付けます。

警告ランプが早い点滅をした場合は、空気抜きを行ってください。(P9参照)

カス捨て警告ランプ  
点灯: コーヒーカスを取り除いてください。(P12参照)

コーヒーの抽出量設定ダイヤル (P13参照)

コーヒーボタン  
ゆっくり点滅: コーヒー一杯の選択  
(ボタンが一度押された状態)  
早い点滅: コーヒー二杯の選択  
(ボタンが二度押された状態)

給湯ボタン  
点灯: 給湯機能選択  
消灯: スチーム機能選択

警告ランプ  
点灯: 次のいずれかの状態です。  
・水タンクに水がない。または、奥までしっかりとセットされていない。  
・豆容器にコーヒー豆がない。  
・ドレイントレイに排水が溜まっている。(P12参照)  
ゆっくり点滅: 次のいずれかの状態です。  
・ブルーイングユニットがセットされていない。  
・カス容器がセットされていない。  
・豆容器カバーが閉まっていない。  
・サイドドアが開いている。  
・スチーム・給湯ノブが元の位置に戻っていない。  
・節電機能が作動中。(P12参照)  
早い点滅: ボイラー内に空気が溜まっています。給湯機能を使って、お湯を出してください。(P9参照「空気抜き」)

アロマ(コーヒー豆量)ボタン (P13参照)

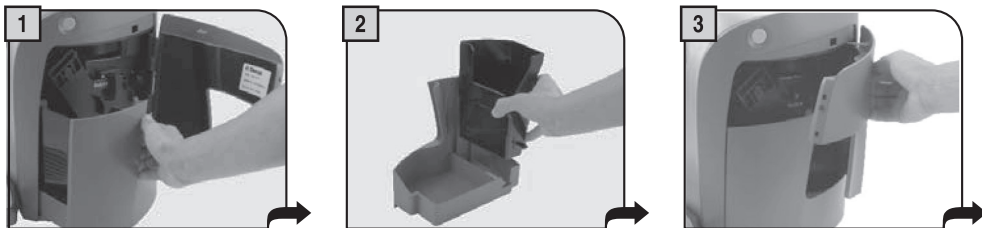
除石灰表示ランプ  
点滅: 除石灰(スケール除去)作業を促す指示サインです。(P20参照)

適温ランプ  
点灯: マシンが使用できる状態です。  
点滅: マシンが準備中の状態です。しばらくお待ちください。

☕と☕ランプが交互に点滅する時は一度電源を切り、30秒後にもう一度電源を入れてください。それでも点滅を繰り返す時は、サエコサービスセンターにご連絡ください。

### カス捨て警告ランプと警告ランプ点灯

カス捨て警告ランプが点灯した場合と、ドレイントレイに排水が溜まり、警告ランプが点灯した場合は、マシンの電源が入ったままの状態です。10秒以上、カス容器とドレイントレイを外してからマシンへセットしてください。10秒以内にセットした場合、マシン内部のカウンターが解除せず、ランプが消えません。



1 電源が入ったまま、カス容器とドリフトレイを外してください。

2 コーヒーカスと排水を別々に空にして、全ての容器を水洗いしてください。

3 10秒以上経過後、マシンへセットし、サイドドアを開けてください。

コーヒーカスは、コーヒーを抽出した回数、ドレイントレイの排水は、スチーム・給湯の使用回数とコーヒーを抽出した回数によりカウントしています。尚、警告ランプが点灯する前に捨てた場合は、カス、排水が溜まらなくても警告ランプは点灯します。

### 節電機能

このマシンは使用電力の削減(エコ)を考慮して開発されています。電源が入ったまま60分間、何も使用しなかった場合、節電機能が作動し、警告ランプが非常にゆっくりと点滅を開始し、内部ボイラーなど主な機能が停止します。節電機能を解除し、再び使用を開始する場合は、コーヒーボタンを1回押してください。適温ランプが点滅し、コーヒーを抽出する適温になると点灯へかわります。



警告ランプが非常に『ゆっくり』点滅を開始したら、節電機能が作動中です。



節電機能を解除するには、コーヒーボタンを1回押してください。

### カップ一杯当たりのコーヒー抽出量の調節

コーヒーの抽出量設定ダイヤルは一杯当たりのコーヒー抽出量の調節を行います。この調節により即座に抽出されるコーヒーのタイプを決定できます。



### アロマ (コーヒー豆量) の設定

000 ボタンを押すことによって、一杯あたりのコーヒーの豆量の設定が可能です。それぞれのボタンにより、マイルドな風味、中くらいの風味、ストロングな風味を選択できます。



マイルドアロマ



ミディアムアロマ

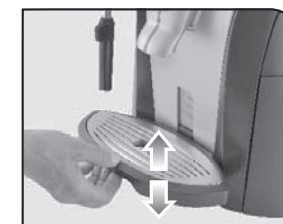


ストロングアロマ

### ドリフトレイの高さ調節

ドリフトレイは異なったカップに合わせて、高さ調節が可能です。

ドリフトレイの調節はご希望の高さまで、手動で上げ下げしてください。



### コーヒーグラインダー調節



この作業は、必ず豆容器内のピンを押しながら回して行ってください。  
また、付属の挽き粗さ調整キーのみを使って行ってください。  
破損の恐れがあります。

コーヒーの種類に応じて、豆の挽き粗さの調整が可能です。  
付属の豆の挽き粗さ調整キーで、豆容器内にある調整ピンを下に押しながら回してください。一度に一刻みづつ調整してください。



粗挽き



出荷時位置



細挽き

### コーヒー抽出

コーヒー抽出サイクルは ☕ ボタンを押せば、いつでも停止できます。  
コーヒーを二杯抽出する時は、コーヒーの抽出動作を二度繰り返します。一杯目が抽出し終わった後、豆挽きのために抽出を一時中断しますが、しばらくお待ちいただくと再度抽出が始まります。



1 カップの高さに合わせてドリフトレイを調節してください。



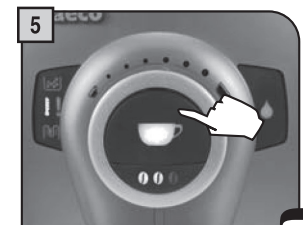
2 一杯分だけならカップを一つ置いてください。



3 二杯分ならカップを二つ置いてください。



4 ダイヤルを回してコーヒーの抽出量を調節してください。アロマボタンを数回押しコーヒー杯あたりの豆量を選択してください。



5 中央のコーヒーボタンを押してください。  
1回押すと一杯  
(コーヒーボタンが)  
ゆっくり点滅  
2回押すと二杯  
(コーヒーボタンが)  
早い点滅  
抽出します。



6 自動的に抽出が始まります。抽出が終わったら、カップをお取りください。



## 給湯

## ⚠ 注意

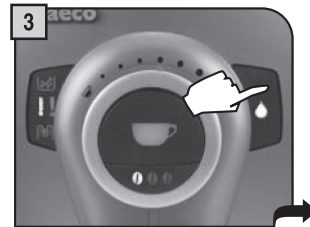
給湯をご利用いただく際は、はじめに少しお湯が噴出します。その後に熱湯が出てきます。手や顔を近づけないでください。  
スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。  
黒いゴムのグリップ部分のみ使用してください。ヤケドの恐れがあります。



ドリフトレイの高さを調節してください。



スチーム・給湯ノズルの下にカップまたは容器を置きます。  
注) ノズルには触れないでください。



給湯ボタンを押してください。給湯ボタンが点灯します。



☁️🔥の位置までノブを回します。



お好みの量になるまでお湯を入れてください。



停止位置(●)までノブを回します。



給湯ボタンを押してください。給湯ボタンが消灯します。



カップまたは容器を取ってください。

## カプチーノ

## ⚠ 注意

スチーム利用の際は、はじめに少しお湯が噴出します。その後にスチームが出てきますので、スチームが安定してからミルクを泡立ててください。  
スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。  
黒いゴムのグリップ部分のみ使用してください。ヤケドの恐れがあります。



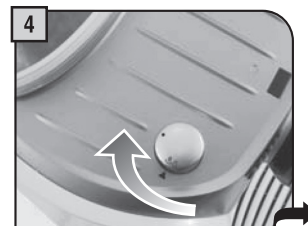
ドリフトレイの高さを調節してください。



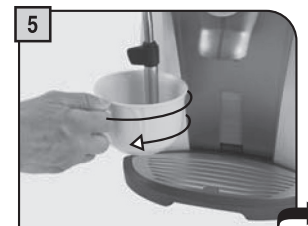
冷たいミルクをカップに1/3程度入れてください。



ミルク内にスチーム・給湯ノズルを浸します。



☁️🔥の位置までノブをゆっくり回してください。



カップをゆっくり回してミルクを泡立ててください。  
注) ミルクの飛び跳ねにご注意ください。



停止位置(●)までノブを回します。



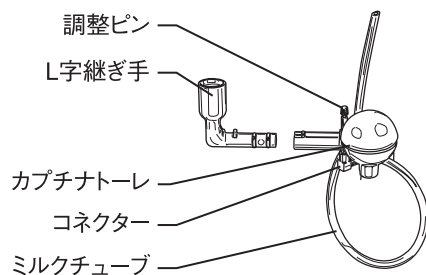
カップを外してノズルを拭き、もう一度☁️🔥の位置までノブを回し、ノズル内のミルクを吹きとばしてください。停止位置(●)までノブを回します。



ノズルが冷めたら、外して丁寧に水洗いしてください。  
注) ノズルが冷めるまで十分お待ちください。

泡立てたミルクのカップにコーヒーを抽出してください。  
カプチーノの完成です。

## 各部の名称



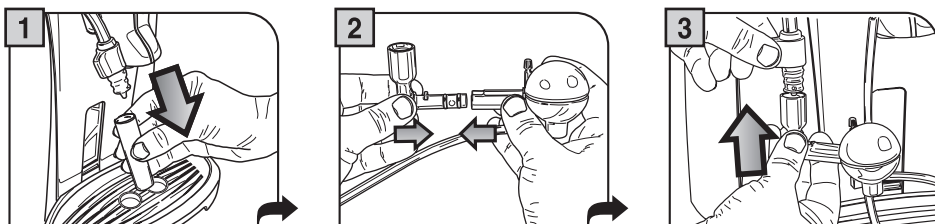
- ⚠ 注意** このカプチナーレKitはOdea Cappuccino専用となります。他の機種でのご利用については一切保証はされません。カプチナーレKitは別途購入可能です。サエコサービスセンター (TEL:050-5525-7025) までお問い合わせください。

## カプチナーレの取付

- ⚠ 注意** カプチナーレを取付せず、L字継ぎ手単体で使用しないでください。スチームが噴出しヤケドの原因になります。スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。ミルクチューブの先端を顔や手に近付けないでください。ヤケドの原因になります。

標準で付属されているカプチナーレを使用することで、簡単に手早く、おいしいカプチーノを作ることができます。カプチナーレを使用するために関連項目の記載の通り、マシンを準備してください。

カプチナーレの装着は以下の記載に従ってください。



1 スチーム・給湯ノズル (パナレ口) の黒い筒を外してください。

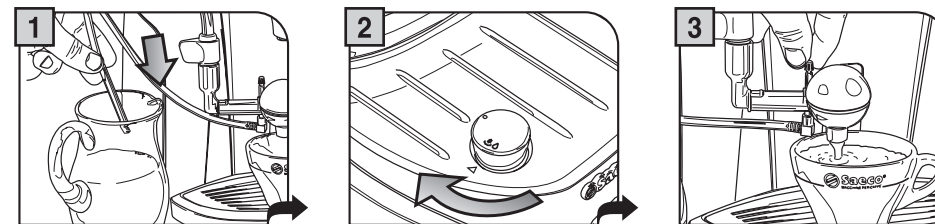
2 L字継ぎ手のホルダー部分にカプチナーレを挿入します。しっかりと奥まで挿入してください。

3 スチームノズルの黒いゴム部分にL字継ぎ手を挿入します。しっかりと奥まで挿入してください。

- ⚠ 注意** カプチナーレを完全にはめ込むまで、スチームノブを回さないで下さい。ヤケドの原因になります。

## ミルクフォーミング

カプチナーレを使用する前に飲料水でクリーニングすることを推奨します。カプチナーレのミルクチューブを飲料水を入れたカップに差し込み、スチームを噴出させて水を抽出して下さい。



1 牛乳を入れた容器にミルクチューブを深く差し込んで下さい。

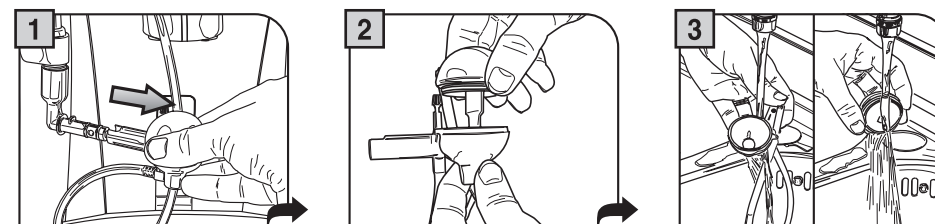
2 スチーム・給湯ノブをゆっくり回し、スチームを噴出させます。

3 ミルクフォームの泡立ちを調節するために調整ピンを回しながら上下に動かしてください。調整ピンはゆっくり動かした方が効果的です。

## 洗浄

カプチナーレを使用した後、新鮮な水が入った容器の中にミルクチューブを差し込み、スチームを噴出させてください。きれいな水が排出されたら、カプチナーレの洗浄は終了です。カプチナーレを取り外して分解し、水洗いをしてください。

カプチナーレには小さな部品が含まれております。分解した際は、紛失しないよう取り扱いに注意してください。



1 カプチナーレを本体から引き抜きます。

2 カプチナーレを真ん中から分解し、調整ピンを抜いて下さい。

3 ぬるま湯でカプチナーレの各部品を洗います。特に内部から汚れが取り除かれたことを確認してください。

カプチナーレの各部品を洗浄した後に、元のように組立て製品へ装着してください。

## 除石灰（スケール除去）

**⚠ 注意** 除石灰作業実施中（約40分間）は全過程を通してそばを離れないでください。除石灰のためにお酢は使用しないでください。

**!** マシンに除石灰表示ランプが点灯した時は必ず行ってください。毒性や有害成分のない除石灰剤をご使用ください。サエコのデカルリキッドをお勧めします。

注意：除石灰作業を始める前に以下の点にご注意ください。

- 1 十分な大きさの容器をご用意ください。
- 2 インテンザを使用している場合は、必ず取り外してから行ってください。



除石灰表示ランプが点滅していたら、除石灰作業を実施してください。  
注）実施されない場合、故障の恐れがあります。



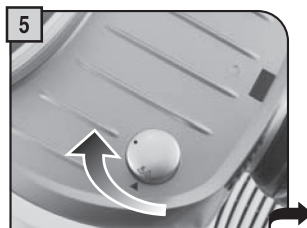
タンクを一度空にして、除石灰剤（デカルリキッド）を入れ、飲料水をMAXの印まで入れてください。



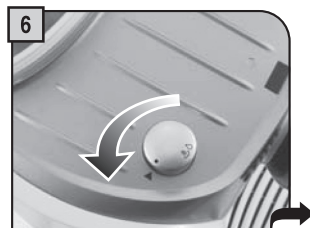
スチーム・給湯ノズルの下に大きな容器（500cc程度）を置いてください。  
注）ノズルには触れないでください。



給湯ボタンを押してください。



ノブをONの位置まで回してください。容器内に15秒間、除石灰剤を溶解した水を抽出してください。



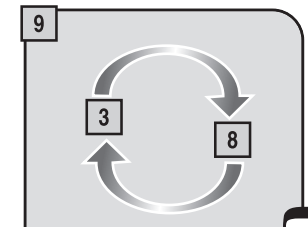
ノブを停止位置（●）まで戻してください。



使用後の除石灰剤の入った容器を空にしてください。



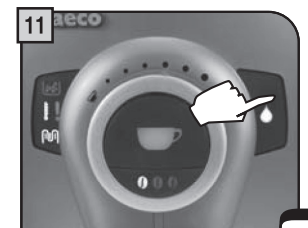
マシンの電源を押し、OFFにしてください。10分後、再度マシンの電源を入れてください。



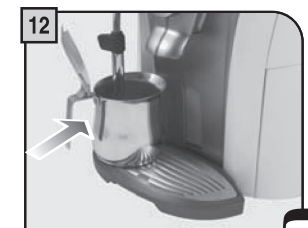
3－8のステップを繰り返してタンク内の除石灰剤を全て出しきってください。



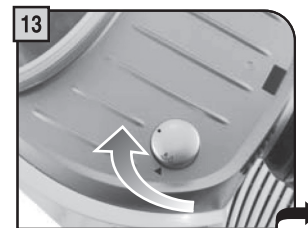
水タンクを水洗いしてからタンクを新鮮な飲料水で満たし、マシンにセットしてください。



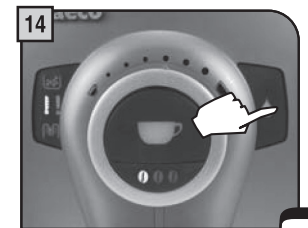
給湯ボタンを押してください。給湯ランプが点灯します。



スチーム・給湯ノズルの下に大きな容器を置いてください。  
注）ノズルには触れないでください。



水タンクを空にするため、ノブをOFFの位置まで回してください。水タンクが空になったら、ノブを停止位置（●）まで戻してください。



除石灰表示ランプを無効にするため、給湯ボタンを6秒間、押し続けてください。



再度新鮮な飲料水で水タンクを満たして、マシンにセットしてください。

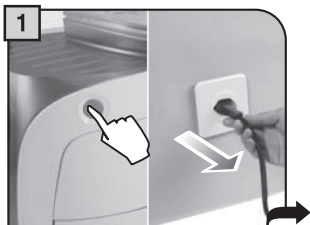
除石灰（スケール除去）作業を終了したら

1. インテンザを装着してください。
2. P9のステップ1からの記述にしたがい、カップ一杯程度の水を出してください。（空気抜き）



## マシンのクリーニング

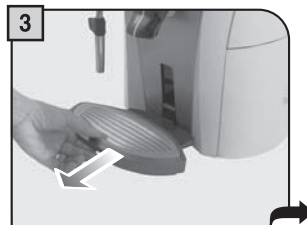
**!** 一日の終わりに必ず以下のマシンクリーニングを行ってください。マシンを水に浸したり、部品を食器洗い機で洗わないでください。マシンクリーニングのためにアルコール、溶剤、ベンゼン、あるいは研磨剤などを使わないでください。水タンク内に残った水は捨ててください。マシンやその構成部品を乾かすために電子レンジやオーブンなどに入れないでください。



1 マシンの電源をOFFにしてコンセントを抜いてください。  
注) 濡れた手では行なわないでください。



2 インテンザが付いている場合は外し、水タンクを洗ってください。



3 ドリフトレイを外して、水道水で洗ってください。



4 カス容器を外してください。



5 コーヒーカスと排水を別々に空にして、全ての容器を水洗いしてください。



6 スチーム・給湯ノズルを引き抜いて外し、水洗いしてください。  
注) ノズルが冷めてから行ってください。



7 ハンドグリップを引き抜いて外し、水洗いしてください。

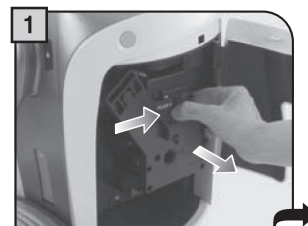


8 コーヒー豆容器は豆を補充する前に柔らかく湿らした布できれいに拭いてください。  
注) 豆容器内に水がかからないようにしてください。

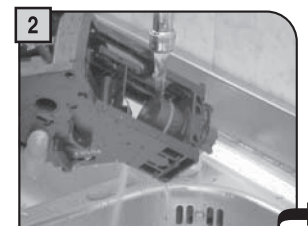
コーヒーカスは必ず、空にする警告ランプ表示が点灯(P12参照)した時に捨ててください。それ以外の時に捨てても、カス容器内のカスのカウントはリセットされませんので、カスが満杯にならなくても警告ランプが点灯する場合があります。

## ブルーイングユニットのクリーニング

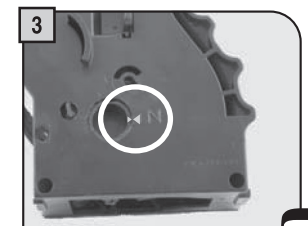
**!** 一日の終わりに必ず、ブルーイングユニットをクリーニングしてください。ブルーイングユニットを外す前に、P22のステップ4に示されているようにコーヒカス容器を外してください。洗い終わったら、ブルーイングユニットとカス容器をセットし、サイドドアを開めてください。



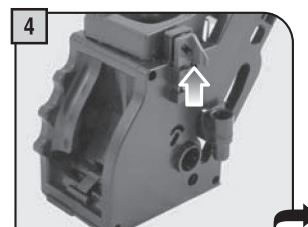
1 ブルーイングユニットの“PUSH”ボタンを親指で押し、手前にスライドさせて外してください。



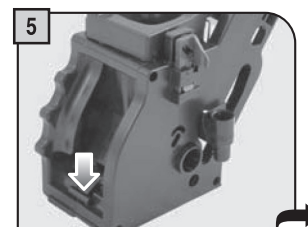
2 水道水でブルーイングユニットを洗ってください。フィルターはよく洗ってください。



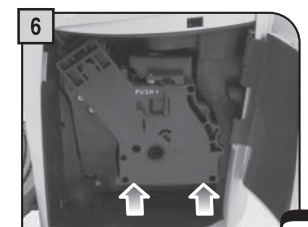
3 ブルーイングユニットが停止位置にあることを確認してください。二つの三角形の頂点がないわけではありません。



4 矢印の部品が正しい位置にあるか確認してください。フックの作用により上部に位置しています。確認するために“PUSH”ボタンをしっかり押しってください。



5 ユニットの後部にあるレバーが抽出ユニットベースに接触しているか確認してください。



6 洗浄して乾いたらブルーイングユニットをセットしてください。この時“PUSH”ボタンは押さないでください。



7 カス容器をセットし、サイドドアを閉めてください。



問題	原因	解決法
マシンの電源が入らない。	マシンが電源に接続されていない。 プラグがマシン背後のソケットに差し込まれていない。	マシンを電源に接続してください。 プラグをマシンの電源ソケットに差し込んでください。
コーヒーがぬるい。	カップが冷えている。	お湯でカップを温めてから、ご使用ください。
お湯あるいはスチームが出ない。	スチーム・給湯ノズルの詰まり。	ピンのようなものでスチーム・給湯ノズルの穴を掃除をしてください。
ウォームアップに時間が掛かる、あるいはノズルからの水量が少なすぎる。	石灰(スケール)の付着によりマシン内部の水経路が狭まっている。	除石灰作業を行ってください。
ブルーイングユニットが外れない。	ブルーイングユニットの位置が違う。	マシンの電源を入れなおし、サイドドアを閉じると、ブルーイングユニットが自動的に正しい位置におかれます。
コーヒーが抽出されない。	コーヒーカス容器がセットされたままの状態である。	まずカス容器を外し、それからブルーイングユニットを外してください。
	水タンクが空。	水タンクを満水にして、お湯を出してください。
	ブルーイングユニットの汚れ。	ブルーイングユニットをクリーニングする。
	ボイラー内に空気が溜まっている。	再度、スチーム・給湯ノズルから水を出してください。(空気抜き)
抽出速度が遅い。	一杯当たりのコーヒー抽出量を調節するダイヤルの位置が間違っている。	ダイヤルを時計回りに回してください。
	ボイラー内に空気が溜まっている。 ブルーイングユニットの汚れ。	再度、スチーム・給湯ノズルからお湯を出してください。 ブルーイングユニットをクリーニングしてください。
コーヒー抽出口からコーヒーが漏れる。	コーヒー抽出口が詰まっている。	柔らかな布もしくは綿棒などで抽出口(穴)をクリーニングしてください。
コーヒー抽出が始まらない。	豆容器カバーが閉まっていない。	豆容器のカバーを正しい位置にして、しっかりと閉めてください。
ミルクの泡立ちが悪い/ ミルクが出ない。	ミルクが冷えていない。 カプチナトーレに汚れ、詰まりがある。調整ピンがない。	ミルクを十分に冷やして下さい。 分解洗浄、詰まりを除去して下さい。 調整ピンを取り付けて下さい。

上の表にない問題や提示されている方法では解決できない場合は、サエコサービスセンター(TEL: 050-5525-7025)へお問い合わせください。

## 保証書

- このサエコ エスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
- 必ず保証書の記載事項「お買い上げ年月日、お客様名、販売店名」をお確かめの上、大切に保管してください。「お買い上げ年月日、お客様名、販売店名」の記載がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- このサエコ エスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

## 補修用部品の保有期間

- 補修用部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
- 本エスプレッソマシンの補修用部品保有期間は、製造打ち切り後、5年です。
- 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合わせください。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

- ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
- 24ページの記載に従って、製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから、下記へご連絡ください。

### サエコサービスセンター

TEL: 050-5525-7025

平日: AM 9:00 ~ PM 18:00

土・日・祝日: AM 10:00 ~ PM 17:00

## 修理のご依頼は

- 故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、24ページの記載を事前にご確認ください。また、ご依頼の前にサエコサービスセンターへご相談されることをお勧めいたします。
- 修理を依頼される際は次頁に必要事項をご記入の上、お手数ですが製品を梱包していただき、下記までご送付ください。(宅配便利用: お送りいただく際の送料は、お客様のご負担となることをご了承ください)

### サエコサービスセンター

〒665-0823

兵庫県宝塚市安倉南2-14

TEL: 050-5525-7025





